

ハイサイ！

「歯〜がんにゅう便り vol.24」をお届けいたします。

今日のテーマは「歯を失ってしまった場合の治療法 その3 ~インプラント~」です。

歯のない部分（顎骨）に人工の歯根を埋め込み、人工の歯を入れる治療法です。

メリット

- 両側の歯を削る必要がない
- 自分の歯と同じように噛むことができる
-

デメリット

- 骨と人工歯根がしっかり結合するのに時間がかかる
- あごの骨に人工歯根を埋め込むため、メンテナンスを怠ると感染のリスクが上がる
- あごの骨が低い場合や薄い場合は人工歯根を埋め込むことができない
- 保険診療対象外のため自費となり、治療費が高額となる

かかりつけ歯科医と相談して治療方法を決めましょう。

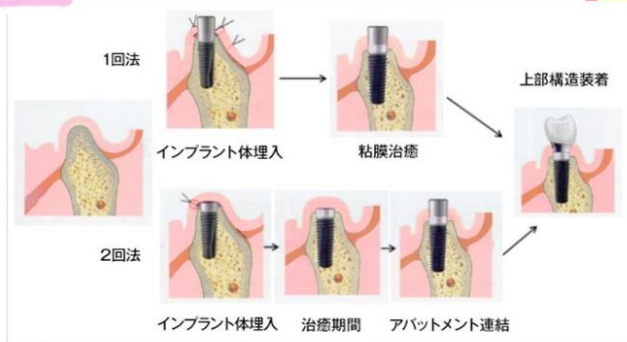
※バックナンバーはこちらから↓↓

<https://www.city.naha.okinawa.jp/nahahokenjyo/kenkoudukuri/tooth/haganijuu.html>

歯を失ってしまった場合の治療法③



②あごの骨に人工歯根を埋め込む手術の手順

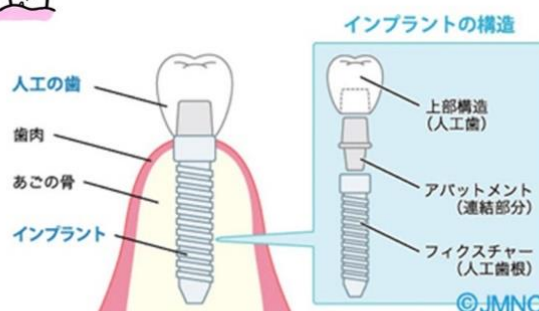


(公社) 日本歯科医師会ホームページより引用

歯を失ってしまった場合の治療法③



①インプラントの構造



人工歯根（インプラント）をあごの骨に埋め込み人工歯をかぶせます